



ぶんりだより



東京文理学院高等部

令和四年度 第一号

発行日 令和四年五月十三日

「さらなる成長に向けて」

学院長 小野塚 雅信

薫風が初夏の訪れを感じさせる爽やかな季節がやってきました。新年度が始まってから一か月以上が経ち、新たな学年やクラスにも慣れてきた頃ですね。さて、私は皆さんに、「他人に優しく自分には厳しく、常に前向きな精神を持ち、与えられた環境の中で最善を尽くす」そんな強いところを持った人間になつて欲しいと願っています。これは決して高校生活だけで体得できるものではありません。長い人生をかけて、ようやく近付ける生涯目標かもしれません。ただし、そういう人間になるのだという気構えと土台をこの学院で築いてもらいたいと強く思います。そのためには、色々な人と関わり、時に人間関係の難しさにも悩んでください。様々なことに挑戦し、上手いかなかったらその理由を自身で考えたり、誰かに聞いてみる習慣をつけてください。また、一度やり始めた物事をとにかく最後までやり遂げることも大切です。考えること・悩むこと・答えを導き出すこと、こういった経験が自己理解を深めていきます。そして自分自身を理解すればする程、他人の気持ちも分かるようになります。努力はすぐに良い形となつて表れるものばかりではありませんが、後に冷静に振り返ると、たいいていの努力は実を結ぶ前の過程で、すでにある一定の達成感を得ていることに気が付くでしょう。「春植えざれば秋実らず」何もせずに良い結果だけが生じることはありません。学年ごとに残された時間は異なりますが、一生に一度の高校生活。上手いかわないことが沢山あつて当然。そういった積極精神で将来に向けて色々な種をまいていきましょう。

まだまだマスクや検温、消毒等、新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながらの学院生活とはなりますが、一・二年生は予定通りバス旅行も実施できました。皆さんがきちんと感染防止対策やルールを守ってくれておかげでもあり、とても嬉しく思います。今後も状況を見極めながらはなりますが、皆さんの学院生活がさらに充実するよう、多くの行事の準備も進めていきたいと考えています。一年後、若葉風が心地よく吹き抜ける中を堂々と歩く、成長した自身の姿を想像しながら、日々の生活を大切に過ごしてください。

六・七月行事予定

六月

一日 一・二年 二者面談

三年 三者面談

四日 第一回英語検定(希望者)

八日・九日

三年 中間試験

十七日 第一回漢字検定

二十二日 体育

二十五日 公開授業日

二十七日 公開授業日代休

二十九日 体育



七月

一日・四日～六日

三年 大智学園中間試験対策

二日 第一回保護者役員会

七日 大掃除・パソコン検定

八日 学年集会

十一日・十二日

三年 大智学園中間試験

二十五日～二十九日 夏期講習



新型コロナウイルスの影響で、予定が変わることもございます。予めご了承ください。

二年生バス旅行作文

(東京デイズニーシー)



二年一組 阿澄 一太

私は、東京デイズニーシーに行く前日の夜から、楽しみな気持ちでいっぱいでしたが、生憎の天気で少し心配になりました。しかし、そういった状況の中でも出来る限り楽しもうと前向きに考え、現地へ向かいました。

到着したら、まずタワーオブテラーに乗りました。エレベーターが急降下するアトラクションで、最初は驚きました。が、とても楽しむことが出来ました。

その後、昼食を皆でとりました。文理学院の友人と外食をすることが初めてだったので、とても貴重な経験になりました。また、その時間は楽しいだけでなく、心の底から気分が晴れやかになり、天気のことまで忘れてしまうほどでした。

昼食後も、皆でパーク内を周り、沢山のアトラクションに乗ったり、ポップコーンを食べたりました。

そして、いよいよ帰りの時間が近づいてきました。想像以上に時間が経過するのがあつという間で、夜までいたいという程でした。

今回のバス旅行は、周囲と交友関係を深める良い機会となりました。

今後の行事においても、多くのことを経験し、思い出を一つひとつ積み重ねていきたいです。

二年二組 栗原 寿々花

私は以前、デイズニーランドへ行ったことがありましたが、デイズニーシーへは、初めてでした。だから、とても新鮮な気持ちで今回の学校行事に参加することが出来ました。

私は元々周囲の大きな声と大きい音が苦手で、他の人とはあまり深く関わりを持たないようにしていたため、グループでの行動には少し緊張していました。また、アトラクションも絶叫系が苦手ではありましたが、グループの人と一緒にだったので、頑張ってチャレンジしてみましたが、やはり少し怖かったです。挑戦出来て良かったと思っています。

今回は私の誕生日にも近かったのも合わせて、みんなと一緒にデイズニーシーをたくさん楽しむことが出来てとても良い思い出になりました。

二年三組 池田 悠人

「ギャー」

千葉にある東京デイズニーシーに悲鳴が響き渡った。

「タワー・オブ・テラー」というシールの中でも一、二を争う絶叫系の乗り物で、乗る前から正直「無理だ!」と思っただ。そして「この世の自分に最後の別れをするのじゃ!」という謎のおじさんのアナウンスで、エレベーターが閉まり、急上昇した。上からの景色は、数キロ先まで見渡せるくらい高く、『晴れていたならなあ』何て思った瞬間、予告もなしに

急降下し始めた。それと同時に、ガラスが割れるような甲高い悲鳴が響いた。『うるさいな』と思ったが、その正体が自分であったことは、後に友人から聞くことになる。

いつもの友人たち五名で、様々なアトラクションや昼食を共にして、思いっきりデイズニーを楽しむことが出来た。最高に楽しい一日だった。

二年四組 上田 一彦

今回バス旅行で東京デイズニーシーに行きました。前日は楽しみな気持ちと、後の作文が億劫な気持ちの半々でしたが、迎えた当日は作文のことを気にする余裕がないくらいに楽しむことができました。

希望していたアトラクションの一つでも乗れたらいいなと思っていましたが、結果は、沢山のアトラクションに乗ることができました。特に楽しかったものは、的に上手く弾を命中させることができた「トイ・ストーリー・マニア!」と、そして「タワー・オブ・テラー」です。「タワー・オブ・テラー」は、以前より上昇・落下の回数が減り、さらに写真撮影が休止になっていたのは残念でしたが、最上階からの眺めは今回もとても綺麗でした。

気づけばあつという間に集合時間となり、「ソアリン・ファンタスティック・フライト」に乗れなかったのは悔しかったです。次の機会にまたクラスで行って乗りたいです。

一学年バス旅行作文

(こどもの国)



一年一組 中村 晃己



一年生全員での初めての行事として私たちはバス旅行でこどもの国に行きました。

こどもの国では、皆でカレーを作ったり、ご飯を飯盒で炊いたり、火を起したりして、周囲と協力することで仲を深めることが出来ました。飯盒炊飯は初めてではなかったので、自分の経験を活かして皆の役に立つことが出来たと思います。

オリエンテーリングでは、班の皆と一緒に、園内をゲーム感覚で回りながら楽しく仲を深めることが出来ました。

帰りのバスでは、友人と「なぜこの高校に来たのか」、「中学の頃はどんな感じだったか」など話すことが出来ました。今までは、悩んでいたのは自分だけだと思っていました。が、中学で上手くいかなかったり、苦しんでいたりは自分だけに優しくないと思えました。今よりも更に人に優しくしようと思えました。

今回のバス旅行では皆と仲良くなれたと同時に、何か大切なことに気付けた気がします。とても良い経験でした。

一年二組 内田 結心

私は、高校生最初の行事であるバス旅行の前日、とても緊張していました。そこで、少しでも班の役に立とうと自宅での調理の練習をしました。調理は、小・中学生のときに家の手伝いをしていたため、レシピ通りに調理することができました。

バス旅行当日、行ききのバスでは、隣の席のクラスメイトと会話できるかという不安がありました。しかし、クラスメイトが話しかけてくれたため、話すことができました。

こどもの国に着くと、花がたくさん咲いており、自然が豊かで開放感がありました。また、飯盒炊飯では調理を担当し、家での練習の成果を発揮するために、他の班員とコミュニケーションをとりました。その結果、無事上手く調理をすることができました。そのとき、仲間と協力することの大切さを改めて感じました。そして、当初予定していたオリエンテリングは内容が先生巡りへと変更になりましたが、自分の班は上位になったので良い思い出になりました。

また、帰りのバスでは、隣のクラスメイトとの会話も増え、学校生活でも会話を増やしていきたいと思いました。

高校生活初めての行事は、前日からバスに乗る瞬間までは不安でしたが、クラスメイトとコミュニケーションをとれたことが嬉しかったです。今後もコミュニケーションをとることを意識していきたいです。

一年三組 牧口 彪牙

僕は四月二十二日に、バス旅行で神奈川県にあるこどもの国に行きました。バス旅行前日は遅刻するのではないかと、とても不安でした。

バス旅行当日はなんとか遅刻せずに集合時間に間に合うことができました。それからみんなバス乗り場まで移動して、バスに乗り込み、出発しました。バスの中では隣の席の人と話したり、外の景色を眺めたりしました。バスがこどもの国に到着した時に、とても広く、自然が多い場所だと感じました。

こどもの国に入ってから、更衣室でジャージに着替え、調理場へ移動しました。そこでは、カレー作りをしました。

火起こしと調理に分かれて作業を行うことになっており、私は調理を担当しました。野菜を切ったり、お米を洗ったりして、順調に進めることができました。そしてその後は切った野菜を煮込み、お米を炊きました。完成したご飯とカレーは、とても美味しかったです。カレーを食べた後は調理道具を洗いましたが、汚れがなかなか取れず大変でした。

その後に、班でチェックポイントにいる先生の所にチェックをもらうというゲームをしました。その頃には気温も上がり暑かったのですが、順調に終わらせることができました。

想像していたよりも楽しく、いろいろなことを学ぶことができたよい行事となりました。

一年四組 ローマン ケン

私は、四月二十二日にこどもの国に一年生全員でバス旅行に行きました。

バス旅行に行く前の気持ちは、クラスメイトと上手くやれるか不安でしたが、初めてのカレー作りやオリエンテリングは楽しみでもありました。

バス旅行当日は、いつもより集合時間が一時間も早く、朝早起きしたため、行ききのバスでは寝てしまいました。

こどもの国では、カレー作りとオリエンテリングをしました。まず、カレー作りでは、カレーとご飯の調理を三人で担当しました。他の二人は、普段から料理をやっているらしく、とても手際が良く、驚くとともに尊敬しました。少し水の量が多く、スープカレーのようにりましたが、とてもおいしかったです。

オリエンテリングでは、トンネルの中を歩いたり、景色の良い場所に行くなど色々な場所を巡ることができ、楽しめました。

バス旅行では、普段ならあまり関わることかきかけがない人とも話をするのができ、嬉しかったです。更に、班員の仲間と力を合わせると、作業の効率が上がることが学ぶことができました。

今回のバス旅行で学んだ協力することの大切さを今後の行事に活かしていきたいと思いました。



漢字検定合格者

昨年度の二月に実施されました、第三回漢字検定の合格者一覧です。合格おめでとうございます。

二年一組

阿澄 一太
藤田 理希
山田 裕高

二年二組

大谷 春幸
鈴木 優香
高島 和美
古島 創
山一 愛咲

二年三組

池田 悠人
伊藤 健人
佐々木 鷹斗

二年四組

大谷 莊太郎
行田 薫
杉本 若奈
鈴木 綾乃
溪 康助
寺川 楠

三年一組

加藤 美香
児玉 直登
野口 真桜

三年二組

堀 真佑
渡瀬 唯人

三年三組

上村 大翔
田上 隼
宮川 佳大

三年四組

清水 優希
高芝 遼介



新任の先生から



二学年副担任 松山 麻未

教科 国語
部活動 演劇部

はじめまして、松山麻未です。今年度より東京文理学院でみなさんと一緒に学校生活を過ごすこととなります。

初めて経験した異動で、文理の生徒から受け入れられてもらえるのだろうかと不安な気持ちがありました。そんな気持ちはすぐさま払拭されるくらい毎日朝からパワーをもらえました。それくらい生徒には自分では気づかないようなエネルギーがあるのだなあと改めて気づかされました。私は、そのエネルギーをいかに使ってもらうか、受け取るか、返すかが教員にとって大切なことだと思っています。

ここで、それを上手く発揮させてあげられるようこれから励んでいきますので、どうぞよろしくお願いたします。



一学年副担任 石坂 美朋

教科 理科
部活動 テニス部

はじめまして、石坂美朋です。今年度より東京文理学院の皆さんと過ごせることになり、一緒に学校生活を送れることを、とても楽しみにしています。

皆さんが充実した学校生活を送ってくださることが私の一番の願いであり、幸せです。皆さんが充実した学校生活を送れるように私も全力でサポートします。何か悩みや困ったことがあればいつでも声をかけてください。より良い方法を一緒に考え、解決していきましょう。これから、よろしくお願いたします。



二学年副担任 濱谷 優貴

教科 社会
部活動 バスケ部

はじめまして、今年度から東京文理学院で皆さんと一緒に過ごすことになりました濱谷優貴です。皆さんとお会いするのもとても楽しみにしていました。

初めて皆さんとお会いした時、「挨拶返してくれるかな」と不安に思うことがありましたがそのような心配は全く必要なく、元気に挨拶を返してもらい、むしろ私の方が元気を貰いました。

そんな生徒たちがたくさんいる学校で、様々なことを一緒に取り組めると考えるととても楽しみです。これからどうぞよろしくお願いたします。



事務 齋藤 郁美

皆さんはじめまして、齋藤郁美です。今年度より、大智学園高等学校からの異動で、東京文理学院の事務職員として皆さんと関わることになりました。

実際に働いてみると、事務手続きのお仕事だけでなく、昼休みには、パン販売をすることを知りました。

私自身、最初はどのように生徒の皆さんと話したらいいかと不安でしたが、生徒の皆さんから積極的に話しかけてくれて、元気をもらいました。

お昼休みには、是非パンを買いに来てください!!!

皆さんの学校生活に関わられて、とても嬉しく思います。どうぞよろしくお願致します。

コラムリレー



「自分が納得したものを実行する」

松山 麻未

私が高校時代に所属していた部活動は、学校がとても力を入れていたこともあって年末年始の数日以外は毎日部活動に取り組んでいました。学校があるときは毎日始発終電。(田舎だったので終電が早いのです)家には寝に帰るだけ。大会の為に修学旅行にも行けず、学校に残って図書館で課題を行っていました。

それなのに、不思議と、全然嫌ではありませんでした。むしろとても充実した時間を過ごしていたと実感していました。それはやはり、「自分が納得して実行していること」だったからだと思います。

だからみなさん、ぜひ、嫌だとかめんどくさいなど思うものこそ自分が納得できる意味やその意義を今一度考えてみてください。どんなに小さな、些細なことでも、自分で決めたことや納得していることなら、後から振り返った時に必ず良い時間を過ごしたと思えるはずです。

